

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 126	提案機関名 財団法人相模湾水産振興事業団
要望問題名 鎌倉市腰越地先の天然ワカメ漁場調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ 従来から鎌倉市腰越（七里ヶ浜）地先の水深5m～8mの海域は、天然ワカメの漁場であり、地元漁業者は、これを「腰越天然ワカメ」と称し、重要な地場産水産物として販売している。 ○ しかし、平成21年は、生産の盛期である2月～3月になっても、全くワカメは繁茂せず、天然ワカメは生産出来なかった。 ○ そこで、原因の調査を県水産技術センター相模湾試験場に依頼した。 ○ 平成21年4月及び11月に同試験場がROV（水中カメラロボット）による調査を実施し、普段確認することが出来ない海中の様子を詳しく観察することが出来た。 ○ 翌年は、一部の漁場でワカメの繁茂が確認され、天然ワカメを生産することが出来た。 ○ 相模湾の主要な漁場の状況を把握する必要性並びに地元漁業者から強い要望があることから、今後も引き続き、同試験場のROVによる調査の実施を要望します。 ○ なお、昨年、原因究明のため同試験場が迅速に対応して頂いたことにつきまして、地元漁業協同組合及び関係漁業者が感謝していることを申し添えます。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 漁場環境保全調査		
対応の内容等	相模湾内の藻場や底質の調査については、現在「漁場環境保全調査」の中で行っています。当該要望については、前記事業の中で適宜、対応してきました。今後も要望があれば、可能な範囲で対応することとしたい。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			